



# ガールスカウト にいがた

一般社団法人  
ガールスカウト新潟県連盟  
〒950-2041  
新潟市西区坂井東6丁目1-4 森の集箱内  
TEL/FAX 025-269-2332  
URL <http://gsj-niigata.org>  
E-mail [info@gsj-niigata.org](mailto:info@gsj-niigata.org)

何か事が起こったとき、ガールスカウトたちは苦難を受けている世界が新しい生活をはじめるときに貢献できる力を持っている。しかし、もしそれをしないなら、私たちの力を養う大切な機会を失うことになる。

If we rise to the occasion we Guides have it in our power to contribute something towards making a new life for the suffering world. But if we allow things to slip back we shall be missing a great opportunity.

創始者 ロバート ペーデンノーボウエル

新潟県連盟45周年事業テーマ

## つなガールにいがた 45周年おめでとう!

1975（昭和50）年に社団法人ガール・スカウト日本連盟新潟県支部が設立され45年の時を刻んできました。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動は制限されましたが、今こそガールスカウトのチカラを仲間と社会と未来につなげようと、「つなガールにいがた 45周年おめでとう」をテーマに「お祝い集会」をしました。

また、「Facebook・動画」「モザイクアート」では多くのおみなさんへむけて感謝のメッセージやガールスカウトの活動をつたえました。

そして、今年度は日本連盟100周年でもありました。

ガールスカウトは自らが行動していく運動です。「少女と女性が、自らの可能性を最大限に発揮できる社会」を目指しています。

### SDGs14 海の豊かさを守ろう

関屋浜の清掃をしました

少しの時間でしたが、たくさんゴミが集まりました。「あった!」「見てえ!」と、まるで宝探しみたいに楽しみながら取り組みました。小さなプラスチックはまだまだたくさん。鳥や魚たちも安心して暮らせる海になりますように!

最後は夕日にむかってジュースで「かんぱ〜い!」

とっても暑かったけど、熱くて爽やかな笑顔でお祝いすることができました。



ガールスカウト新潟県第17団は、お祝い集会で段ボールのケーキを作りました。

ガールスカウトの45周年のお祝い集会を通して、ガールスカウトは歴史のあるものと改めて知ることができました。そしてこれからもガールスカウトの歴史をつないでいくためにガールスカウトを続けていこうと思います。

ジュニア6年 大塚愛未





# 各団のお祝い集会

10/11 23団  
つたの  
リース  
でお祝い

いつも整備している松海の森の中でツタや松ぼっくりや秋の草花を使って『45』の文字を作りケーキに飾ってお祝いしました。秋晴れの森の中にみんなの笑顔と笑い声ははじけました。

### －スカウトの感想－

#### ジュニア部門

協力して準備から楽しかった。

#### シニア部門

他部門のスカウトと楽しく交流ができてよかった。

#### レンジャー部門

ケーキを飾り付けることで45周年を祝うムードが高まった。自然の中でお祝いできたのが新鮮で楽しかったです。



10/11 1団  
ゆめ もり こうえん  
夢の森公園  
しぜん なか  
自然の中  
でお祝い



柏崎夢の森公園の“ヤッホーの丘”で、「45周年おめでとう！」と山に向かってみんなでお祝いしました。天候にも恵まれ、きれいな里山からやまびこも聞こえ、最高の気分でした！

10/10 10団  
はな  
花の  
寄せ植え  
でお祝い

新潟県連盟の45周年を、花の寄せ植えでお祝いしました。初めてでしたがとてもかわいくできました。1か月たってもきれいに咲いています。



11/21 18団  
たいぐるま  
鯛車  
でお祝い

18団は郷土玩具の鯛ぐるまの絵を描き、会員とOGで手形を取り鯛の「うろこ」として貼り付け、みんなとのつながりを感じられるように作りました。また、ガールスカウト新潟県連盟の歴史について話をしました。

### －スカウトの感想－

#### ブラウニー部門

- ・手形が多くてびっくりした
- ・手形の色がいろいろあって面白かった (部門別に色を変えた)

#### ジュニア部門

- ・自分たちの手形で鯛ぐるまができあがっていたのでおどろいた

#### シニア・レンジャー部門

- ・前の団委員長さんと手形でつながれたのが良かった
- ・久しぶりに団で一つのことをした気がしてうれしかった
- ・手形が鯛ぐるまになったのですごい
- ・地域の文化とふれ合えてよかった
- ・ガールスカウトの歴史について話を聞いて、再確認できてよかった





11/14 8団  
ねんまえ  
45年前に  
タイムスリップ  
でお祝い

私の団では35年前のガールスカウトの教本に記載されていたメキシコのお祝いのゲーム「ピニャータ」と45年前の制服でお祝いしました。

「ピニャータ」は簡単だけどコツが必要で何個も作りましたが、パーティー気分を楽しめました。昔の制服を着ると自分がタイムトラベラーになった気がしました。

(ジュニア5年)

作成したお祝い動画を団のFacebookに投稿すると、45年前に8団のスカウトだった方からメッセージが届きました。まさに45年前のスカウトと現在のスカウトが「つなガール」ことができました。(担当リーダー)



動画はこちら！



45周年をお祝いしてハンドベル演奏をしました。

ガールスカウト新潟県連盟は12月24日で45才、11団のスカウトたちはお祝いとして“世界に一人だけの私”になろうと、この曲を選びました。

毎年地域の世代交流ふれあい会などで、大勢の人に聞いてもらい楽しんできたハンドベルです。

今年はコロナ禍ということできれませんでした。連盟のお祝いとして私たちの気持ちとともにみなさんにお届けでき、喜んでます。

— スカウトの感想 —

- ・初めての曲だったけどがんばって練習して、上手に演奏できた
- ・歌いながらの演奏は大変だった
- ・お祝いの気持ちをたくさんこめたよ！



↑  
演奏の動画はこちら！

11/21 11団  
ハンドベル  
えんそう  
演奏  
でお祝い



私たちは世界に一つだけの花になります！

11/23 15団  
おやこ  
親子  
ゲーム  
でお祝い

— スカウトの感想 —

集会を通してガールスカウトがずっと昔からあることが分かりました。驚きました。キャンプの時、ジュニアのお姉さんが優しくしてくれてうれしかったことを思い出し、今度は私が優しさをつなげていきたいと思いました。

またみんなとお話ししたり料理を作って食べたりするのが楽しみです。



記念動画『つなガールにいがた 45周年おめでとう！』

新潟県内の団の活動や、お祝い集会の様子をまとめました。Facebookでご覧ください→



モザイクアート(裏面に掲載)

「つなガールにいがた 45周年おめでとう」

まわりのリボンやロープは「つながり」や「やくそく」を、三つ葉はガールスカウトが強い絆で結ばれていることを、少女はガールスカウトが目指す未来をさして進む姿を表現しています。

一つ一つのモザイクはスカウトと支えてくださる皆さんの笑顔です。モザイクアートをとおしてみなさんに元気と笑顔をお届けします。

ぜひ、お友達の笑顔を探してみてください。



文部科学省委託事業  
 「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」  
 野外活動やさまざまな人との交流は、子どもたちの豊かな心と体を  
 大きくみます。  
 コロナ禍で子どもたちが外で体を動かす機会が減少してしまいましたが、  
 自然体験活動に地域の親子にもご参加いただき、一緒に思いっきり  
 楽しみました。



中央区 ゆいばーとにて  
 「おやこで楽しむ野外体験！」

中央区  
 信濃川ウォーターシャトル  
 「川からみんなの  
 住む街を見てみよう！」



中央区  
 神明公園にて  
 「野外料理を楽しもう」



西蒲区  
 入徳館野外研修場にて  
 「おやこでチャレンジ！  
 ポイントラリー」



西区  
 寺尾中央公園にて  
 「秋の自然を楽しもう」

長岡市 水道公園にて  
 野外活動  
 「みんなで遊ぼう  
 自然チャレンジ」



上越市  
 県立大潟森と水公園にて  
 「自然体験&カートン  
 ドッグをつくろう！」



柏崎市 夢の森公園にて  
 自然観察、追跡ハイク



団委員長より

## スカウトへのメッセージ

新型コロナウイルス感染症の影響で対外的な活動が制約された現状においても、ガールスカウトとしての歩みを止めず、今だからこそその役に立てる力をつけましょう。時代に合った知識を身につけ、社会に役立つ「何でもできる手」になりましょう。新しい方法を考える絶好の機会です。

目指せ、ハイブリッドスカウト！！

またみんなとふれあえる楽しい活動ができるようになる日まで、一緒に頑張りましょう！

2020.12.6 団委員長会議より

## トレーナー通信

指導者へ活動のヒント

少女や女性を取り巻く数字の問題です。

10歳女子で「女子は男子よりも料理が上手にできた方がいいと思う」と考えているのはどのぐらいいるでしょうか。

- ① 45%
- ② 65%
- ③ 85%

出典：株式会社ワコール「ワコールキラキラ白書2019年版」

ガールスカウトは「ジェンダーに基づく差別と暴力」を根絶する取り組みとして、Stop the Violence キャンペーンを行っています。

問題の答えは③です。「女の子らしい」「女の子だから」などの性別役割分担や固定観念、性差別や暴力、男女の不公平は少女たちの自己肯定感や可能性を阻む大きな要因になっています。

ガールスカウトはすべての少女・女性がジェンダーバイアスやバリアを感じることなく、自らの可能性を存分に発揮できる社会に向け取り組みます。

さて、あなたはこの数字をどう捉えますか。そして、少女たちに何を伝えますか。

## 編集後記

今回は、記念事業『つなガールにいがた45周年おめでとう』の様子などを紹介させていただきました。

新型コロナウイルス感染症の流行の中、各団が感染対策をしながら工夫を凝らして、お祝い集会などの活動をやり遂げたことは、とても素晴らしいことだと思えました。記念事業の一環として作成されたモザイクアートも、どうぞご覧ください。紙面作成にあたり、ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。(T)